

特定非営利活動法人あきたパートナーシップ

ニュースレター VOL. 138

2018年度ももう残り僅か、平成という元号も1カ月半で終了します。5月1日から新しい元号で何か新しいことが始まるような期待が膨らみますが、たかが元号、されど元号、考えすぎということでしょうか。

当法人は秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」の管理を担っておりますが、今年度の施設利用者は2月末まで概ね前年を少し上回る状況ですし、各種主催事業も順調に実施されております。

以下に当法人が実施した事業の一覧を掲示します。また11月以降に実施した事業のいくつかを報告します。年度末を控えて概ね事業は終了しておりますが、今年度最後の事業として、24日（日）に「NPOのための事業報告書作成講座&大相談会」を開催します。NPO法人の設立、運営、会計など、NPOに関わる各種相談に応じますので、どうぞお出で下さい。



NPO法人あきたパートナーシップ実施事業一覧

遊・学講座

あなたの遊びたい、学びたいという思いに応える、遊学舎企画・提案の講座

初心者のための手話	5月～7月	全6回	ラージボール卓球教室	7月～9月	全6回
洋ラン栽培講座	5月～9月	全3回	つながりカフェ	7月～2月	全8回
食を楽しむ会	6月～1月	全4回	七夕親子そば打ち体験	7月	
旅くらぶ	6月～11月	全6回	遊学舎「夜市」	8月	
登山塾	6月～10月	全6回	タイムスリップ古民家生活	8月26日～30日	
ハーブクラフト部	6月～2月	全6回	新春ファミリー映画会	1月	全2回
野菜ソムリエから学ぶ“野菜のパワー”	6月～11月	全6回	夏休みジュニアステンドグラス体験教室	8月	全2回

市民活動活性化事業

NPO, 市民活動について学ぶとともに、市民活動に携わる方たちのスキルアップを図る事業

フリーマーケット	5月～2月	全11回	次世代の市民活動担い手育成事業	
いきいき健康塾 健康漫談「笑いと健康」	5月		「手話を体験してみよう」	12月
NPO資金調達「助成金申請のための講座」	8月		インターンシップ受け入れ	6月～12月
秋田市南部市民センター（別館）との共催			休眠預金制度の勉強会	1月
親子でヒップホップダンス	8月		詐欺なんかにはひっかからないぞ！	2月
まなぶ！つながる！あきたNPO会議	10月		秋田で考えるSDGs	2月
遊学舎まつり	10月		秋田市南部市民センター（別館）との共催	
ボランティアデビュー講座 ～ボランティアのマッチング～	11月		パソコンを使わないIT講習	2月 全2回
			NPOのための事業報告書作成講座 & 大相談会	3月

遊学舎企画事業 遊・学講座から

食を楽しむ会”

様々な料理を作ったり味わったりして食文化を学び楽しむ4回の講座。6月から始まり、9月、11月、1月と実施した。

11月の講座では郷土食「きりたんぼ」を作った。お米（新米）を炊くことから始め、杉の棒できりたんぼを焼き、秋田の食材に拘ったきりたんぼ鍋を作り上げた。日頃積極的には料理をしないという男性2名も参加して和気藹々とした講座となった。



1月には男鹿の郷土食である「あんぷら餅」を作った。古くから男鹿地方で家庭料理として親しまれていた「あんぷら餅」はじゃがいもを擦って、その絞ったものとでんぷんに炊いたごはんを加え、こねて丸める。それを鶏と昆布で出しを取った汁に入れ、ネギ、なると等を飾って食べる。

参加者は男性3名を含む合計18名、この料理にまつわる子どもの頃の話聞くなど、全員で味わって大いに楽しんだ。

ハーブクラフト部

季節を感じながらハーブクラフトをともに楽しむ、身近にある素材でハーブ関連の小物を作り生活に取り入れるなど、ハーブに癒される心地よい暮らしをつくることを目指して講座を開催。6月から2月までほぼ1月おきに6回実施した。講師は桐谷うらら氏。

参加者は6～9名、ハーブクッキー、ラベンダーなどのハーブを入れたアイピロー、ユズやさまざまな香料を加えたリップバームなどを作り、香りのある生活の豊かさを学んだ。



つながりカフェ（コーヒー講座）

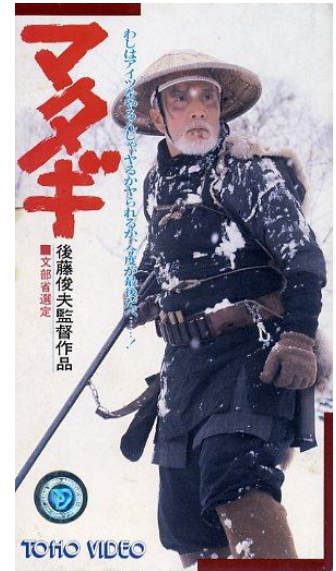
2月11日午後、遊学舎食工房で、コーヒー講座「淹れ比べ・飲み比べ」を実施した。参加者17名。コーヒー5銘柄を浅煎りと深淹れなどの比較のほか、水出しコーヒーの試飲を行った。



新春ファミリー映写会

特別企画として、1月19、20日の2日間新春ファミリー映写会～後藤俊夫監督名画鑑賞会～を開催した。後藤氏は秋田県を舞台にした名画「マタギ」の監督として有名だが、最近「マタギ」は上映されることがなくなっている。マタギは秋田の誇る民俗文化であり、ぜひ多くの人に映画を通してマタギの真の姿に触れて欲しいと考えていたところ、後藤氏が秋田に来て下さることになり、後藤作品鑑賞映画会を実施したものである。

19日は午前「こむぎいろの天使～すがれ追い～」、午後「マタギ」を、20日は午前「マタギ」、午後「こんにちはハーネス」を上映、鑑賞者は320名に上った。全作品に監督のあいさつがあり、作品の舞台裏や個々の作品に籠めた熱い思いなどを述べられた。



遊学舎企画事業 市民活動活性化事業から

「休眠預金の現状と、これから」

講師 認定NPO法人まちぼっと 事務局長 奥田裕之さん

1月12日(土)、休眠預金について学ぶ研修会を開催した。講師から金融機関の口座で10年以上出し入れされていない休眠預金を活用する新しい仕組みについて詳しく説明して頂いた。特に休眠預金が市民活動にどう生かされるのかが大きな関心事であるが、丁度この日に休眠預金活用制度を活用する指定活用団体が「一般社団法人 日本民間公益活動連携機構」に決まるというタイミングで、いよいよこれからの展開に注視していくことが大事であると述べられた。

参加者からは活動資金の必要性を訴える意見が多く、中間支援組織としては今後も休眠預金制度に関心を持ち続け、資金と各団体とをつなげていくよう努力しなければならないという思いを強くした。



詐欺なんかにはひっかからないぞ！

講師 秋田東警察署生活安全課生活安全係
係長 秋田県警部補 佐藤真二さん
巡査長 秋田県巡査 桂木将和さん

2月12日(火)、秋田東警察署の方々を講師に、市民安全安心地域づくり講座「知って、安心安全」を開催し、特殊詐欺の手口や被害防止対策、自分の身を守る「護身術」を学んだ。

参加者は13名で大部分高齢者。講師が進化する振り込め詐欺の手口を説明しながら、自分は絶対詐欺にひっかからないと思っている高齢者に騙されるケースが多いと話された。これが妙に説得力があり、参加者は騙されてなるものかという思いを強くしたようだった。

最後に2人1組になって護身術を体験、こんな年になって護身術なんてと言いながらも楽しそうに取り組んでいた。



秋田で考えるSDGs

～目標に向けて「自分たちの行動を考えてみませんか!～

2016年国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)は、全国的に認知度が高まってきている。2月16日(土)、NPOとして、また秋田という地域として、SDGsの目標達成に向けてどう行動するかを考えるセミナーを開催した。

第1部「私たちの地域をSDGsから考える」講師の新田英理子さん(日本NPOセンター/一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク事務局長代行)が、SDGsの基本知識やNPO活動との関わりについて講演された。

第2部では、坂下美渉さん(NPO法人あきた結いネット理事長)、松橋拓郎さん(松橋ファーム)が秋田で自ら取り組んでいる地域課題とSDGsとの繋がりについて講話。その後8グループに分かれてSDGsを自分事として考えどう活動するかを考えるワークショップを行った。SDGsはそれぞれの課題が関連していること、目標達成には多様なセクターとの協働をもっと進めていくことが必要であることを実感させられるセミナーとなった。



あきたパートナーシップ受託事業

平成30年度秋田県協働の地域づくり推進事業

「秋田いいとこ自慢こフォーラム」

あきたパートナーシップでは、平成27年度から秋田県から県央地区の協働の地域づくり事業を受託、県央地区を由利地区、秋田市中央地区、男鹿南秋地区の3つに分けて、それぞれの地区で事業を実施している。

2月11日(月・祝)遊学舎で秋田市中央地区の今年度の集大成事業「秋田いいとこ自慢こフォーラム」を開催。NPO、企業、一般市民の方々が秋田の自慢を紹介した。参加者に「秋田にはこんなにもいい人・もの・こと」があることを実感させた。皆が連携して自信を持って情報発信することが秋田の活性化に繋がることを確信させた実り多いフォーラムであった。

